

女性協の大切さ再認識

九州地連女性協定期大会

10月29日（土）、第

四九回九州地連女性協

議会定期大会は、昨年

に引き続きオンライン

で開催されました。参

加者は、二〇代の若手

社員の姿が目立ち「女

性協の参加は初めて」

という方も多い中、常

任委員を含め一七名に

参加頂き、一年間の振

り返りと単組での取り



昨年に引き続きオンライン開催となった

活用法です。このアンケートは匿名で行っており、ハラスメントや制度の取得状況、取得する際の思いも項目として入っています。毎年議案書作成の目的で実施していましたが、九州地区の組合員に協力してもらうのならば、意義のあるアンケートにしたいという常任委員の想いと、ハラスメント実態や他単組で起こっている事案を共有すること止に繋げる目的から、各単組で会社にも情報共有としてアンケート結果を提供する、という仕組みを作りました。

休取得については、昨年の実績では、取得人数は二人だったにもかかわらず、今年は一四人取得と大幅に増え、各単組で男性の育休取得への動きが少しずつ前進しているように感じます。

誰もが働きやすい職場づくりを訴えていくためには、当事者の私たちが声を上げ続けることが必要不可欠です。

そのためには、働く工

リアも会社も年代も、系列も関係なく、情報共有・意見交換ができる女性協とうう場は非常に大事だと改めて感じました。

この女性協という集まりを通じて得た情報を、各単組、働く環境改善に生かしていくこうという思いを各自が胸に抱き、今年度の定期大会を締めくくりました。

を行いました。

今年もコロナの影響で、

先々の状況が読めず全ての

集会がオンラインでの開催

となりましたが、常任委員

でLINEグループを作り

組みについて情報交換

密に連絡・情報共有を行い

ながら活動を行ってきました。その中で、話にあがつ

たのが、例年九州地連女性

協議会が実施している組合員へのアンケートの結果の

定期大会の単組報告では、テレワーク手当の導入や、男性社員の育休取得率のアップが話題に挙がりました。九州地区の男性の育

休取得については、昨年の実績では、取得人数は二人だったにもかかわらず、今年は一四人取得と大幅に増え、各単組で男性の育休取

